学校番号	２０２

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新現代社会 新訂版（実教出版）						
副教材等	山川一問一答現代社会（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本と世界の政治・経済について、関心をもち、その社会問題に「なぜ」の視点をもつ。
・主権者としての自立を可能にするために、発問に積極的に答える、意見表明をする、文章にまとめるなどの自分の意見を持ち、また他人の意見に耳を傾け、多面的に考える。
・時事問題への関心を高め、外部講師による授業や校外学習活動の機会を増やし、当事者という意識をもって、社会問題を考える。

2　学習の到達目標

・現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
・自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	・現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表・レポート）	行動の観察 （ワークシート・レポート）	行動の観察 （ワークシート） 定期考査・小テスト

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	わたしたちの生きる社会	第１章　地球環境問題 第２章　資源･エネルギー問題 第３章　生命科学と情報技術の課題	○	○ ○	○	○	a 地球環境問題､特に地球温暖化に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b 資源・エネルギー問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、消費・利用について多面的・多角的に考察している。また、自らの生活の在り方や価値観について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを考察した過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c 科学技術の発達､特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d 資源は有限であることを理解し､その公正な分配と持続可能な利用などについて様々な立場でそれぞれの考え方があることに気付き、その問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、それらの知識を身に付けている。	a: 行動の観察 記述の点検 b, c： 行動の観察 記述の確認 d: 定期考査 小テスト

2学期	現代の社会と人間	1　青年期の自己の形成 第１章　自分らしく生きる 第２章　人間としてよく生きる 第３章　日本人としての自覚 第２章　日本経済の特質と国民生活	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○	a 青年の生き方に対する関心を高め、生涯における青年期の意義と自己形成の課題を意欲的に追究し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて考えようとしている。 b 学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味について自らの人生とかかわらせながら多面的・多角的に考察し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて社会生活の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、追究し考察した結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c 現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から民主社会において求められる価値や民主政治を基礎づける考え方などについて学習に役立つ情報を主体的に選択して活用し、追究している。 d 現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働きなどについて理解し、その知識を身に付けている。	a: 行動の観察 記述の点検 b, c： 行動の観察 記述の確認 d: 定期考査 小テスト

3学期		第１章　国際政治の動向 第２章　国際経済の動向と国際協力 第３部　共に生きる社会をめざして	○ ○	○ ○ 	 ○	 ○ 	a 冷戦終結後の国際政治に関する諸問題に対する関心が高まり、国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に追究し、国際社会における日本の責任と役割について考えようとしている。 b 冷戦終結後の国際経済に関する諸問題から課題を見いだし、国際的な経済協力の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の責任と役割について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c 持続可能な社会、多文化共生社会の意義について、関連する諸資料を様々なメディアから収集し、それらのなかから学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d・経済の国際化、労働力・資本・技術・情報などの地球規模での移動や貿易の拡大と不均衡、南北問題などを理解し、その知識を身に付けている。	a: 行動の観察 記述の点検 b, c： 行動の観察 記述の確認 d: 定期考査 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。